

# 各区の活動報告

## 川崎区 障害者地域自立支援協議会 年間活動報告

### <川崎区自立支援協議会の特徴>

- ① 川崎区は市内の区の中で一番面積が広く保健福祉センターと2つの支所があり、事業所も多い為、多数の構成員で形成されています。
- ② 月に1回の協議会を開催しています。その他に各グループでの活動を行い、協議会を盛り上げています。

### <今年度の目標と方向性>

1. 昨年度の振り返りから、部会活動を中心に行っていきます。
  - ① 災害対策部会 <目標> 地域から川崎区への提言づくり。  
当事者より、災害に対しての不安あり、取り組めないかという意見がでました。
  - ② 入浴部会 <目標> 家以外の入浴の場所を確保する  
「入浴」に関する取り組みについて、引き続き行い、なんらかの形にしたいとの意見があり、今年度も引き続き活動を行うことになりました。
  - ③ 広報部会 <目標> 協議会の存在の周知。着実に実績を残していく。  
田島養護学校から、卒業後のこと、生活支援センターの事、成年後見制度の事など、情報がほしいとの希望あり、自立支援協議会で取り組むことになりました。
2. 事前アンケートより、構成員が参加しやすい第2火曜日に変更し、活発な活動が出来るよう目指します。

### <今年度の区全体会議>

第1回 4月18日(水) 13:30~15:45 川崎区役所にて

自己紹介、自立支援協議会の体制の確認  
平成24年度の区全体会議の活動について  
部会3つ(広報・入浴・災害)の提案。所属希望の確認

第2回 5月8日(火) 14:00~16:30 南部身体障害者福祉会館にて

小グループ活動(入浴・広報・災害対策部会)年間計画・部会長・目標設定  
課題整理表の検討「独居の障害者の医療行為における同意書について」

第3回 6月12日(火) 14:00~16:30 南部身体障害者福祉会館にて

小グループ活動  
・広報部会(かわさき市民祭り不参加、養護学校保護者向け説明会の実施について、地域の事業者向け、区全体会議の報告会の開催について)  
・災害対策部会(地域の災害対策における課題の検討)  
・入浴部会(近隣の入浴実施事業所の見学先決定、見学時の質問内容の整備)  
課題整理表の検討「聴覚・視覚障害者と認知症母との生活における支援について」

**第4回 7月10日(火) 14:00~16:30** 南部身体障害者福祉会館にて  
小グループ活動

・広報部会…協議会パンフレット作成で、対象者を誰に絞るかの検討、内容は、活動紹介や入浴課題への取り組み・相談支援事業所の利用ガイド。

田島養護学校での講演会は、テーマは成年後見制度について。

・災害対策部会…地域や事業所、行政レベルでの災害直後における課題抽出。  
福祉避難所についての意見交換

・入浴部会…区外3事業所の見学報告。医療ケアが必要な方や、体の大きい方への対応がどこまでできるのか、運営費の問題がそれぞれあることがわかった。区での展開について。

**第5回 8月7日(火) 14:00~16:30** 南部身体障害者福祉会館にて  
小グループ活動

・広報部会…協議会パンフレット作成。

田島養護学校での講演会は、テーマは成年後見制度について。10月中旬以降で検討。

・災害対策部会…「事前準備・避難場所・情報伝達・障害者への初期対応チームの構築」についての課題抽出

・入浴部会…今年度・これまでの見学・調査についての報告書の作成について

田島養護学校校舎移転のお知らせ

地域包括支援センターとの意見交換会 11月13日3時~

**第6回 9月11日(火) 14:00~16:30** 南部身体障害者福祉会館にて  
小グループ活動

・広報部会…協議会パンフレット作成。

田島養護学校での講演会は、テーマは成年後見制度について。10月16日(火)参加者30~50名程度。

・災害対策部会…横浜市保土ヶ谷区地域自立支援協議会・地域作業所等連絡会の防災マニュアル等の資料を参考に話し合いを進行。今後、事業所向け災害発生時マニュアルを作成し避難訓練や、備蓄等について確認する。

・入浴部会…現状の制度の中に組み込める提案を思考する。

他都市状況を参考に新しいサービスの形を提案していくため、具体化に向けた作業を行う。

事例検討…手帳未取得の方のケース検討

富山方式 DVD鑑賞

## 幸区 障害者地域自立支援協議会

### 〈幸区自立支援協議会の特徴〉

- ① ワーキングチームを作り、構成員の役割を明確化し、活動を活性化させます。
- ② ライフステージごとに切れ目のない支援を行うために、各福祉機関との連携を深めます。

### 〈今年度の目標と方向性〉

今年度から南部療育相談所、ヘルパー事業所、精神分野の事業所が新たに加わり、メンバーが増えたことで、さらに厚みの増した意見交換が期待されます。また、昨年度あがった課題やニーズに対してさらに良い地域づくりをしていくためにはどうしたらよいか話し合い、自立支援協議会の活動の幅を広げていければと考えています。

### 〈今年度の区全体会議と部会系の活動について〉

第1回 4月17日（火曜日） 14：00～17：00 御幸日中活動センターにて

- ◎自己紹介
- ◎昨年度の動きを共有
- ◎部会・系の役割分担
- ①連携部会…養護学校との連携・地域包括との連携・民生委員との連携
- ②当事者部会…幸区を中心にしたお出かけマップさいわいウォーカーを当事者と作成
- ③広報部会…区役所作品展示・日吉祭参加・広報紙発行
- ④課題整理部会…ナイトケアに関して、3月までに事業計画の作成を目標

第2回 5月22日（火曜日） 14：00～17：00 御幸日中活動センターにて

- ◎事務局会議報告
- ◎部会での協議（協議後 参加者全員で協議内容の共有）

第3回 6月19日（火曜日） 14：00～17：00 御幸日中活動センターにて

- ◎事例検討…強度行動障害がある、自閉症の方のケースを検討
- ◎部会での協議（協議後 参加者全員で協議内容の共有）
- ◎市自立支援協議会運営会議報告

第4回 7月17日（火曜日） 14：00～17：00 御幸日中活動センターにて

- ◎事務局会議報告
- ◎部会協議（協議後 参加者全員で協議内容の共有）
- ◎くらし部会・連絡会議の内容について検討

第5回 8月21日(火曜日) 14:00~17:00 御幸日中活動センターにて

- ◎わたみの方からチラシの折り込み作業の紹介
- ◎事務局会議報告
- ◎部会協議(協議後 参加者全員で協議内容の共有)

第6回 9月18日(火曜日) 14:00~17:00 御幸日中活動センターにて

- ◎幸区社会福祉協議会からの話(地域との関わり、民生委員との関わりなど)
- ◎事務局会議報告
- ◎部会協議(参加者全員で協議内容の共有)

## 〈部会・係進捗報告〉

### ◎連携部会

・民生委員との連携…障害のある方に関わったことがあるか、関わる中でどのようなことを感じているのか、知りたい情報は何かなどアンケートの実施。

社協との連携…9月協議会時に社協の方をお招きし、講義を実施。民生委員との連携などについてもお話をいただく。

養護学校との連携…昨年度と同様に12月に田島養護、鶴見養護の保護者を対象にの保護者を対象に自立支援協議会の情報提供と、困っていることへの情報提供を実施。

地域包括との連携…1月に幸区にある地域包括の職員との意見交流会を実施予定。

### ◎当事者部会

今年度より、当事者の方5名参加。6月、8月、9月、10月に当事者部会を開催。幸区を拠点としたおススメスポットを掲載した「さいわいウォーカー」の作成進行中。

### ◎課題整理部会

平成23年度にあがった「ナイトケア」についての課題に対し、ニーズの調査、アンケートの実施、モデル事業の検討を進める。アンケートは11月中に各事業所を対象に配布予定。また、定期的に各構成員からあがった課題を検討。

### ◎広報部会

9月に広報誌(さいわいジャンプ)の発行、幸区役所の展示スペースを活用し、各施設による作品展を実施。また、11月に開催される日吉まつりに協議会として参加する予定。

## 中原区障害者地域自立支援協議会

### <中原区自立支援協議会の特徴>

- ① 保健福祉センターと相談支援事業所を中心に、障害福祉サービス提供事業所、教育機関、日常生活自立支援事業、法人後見受託法人、当事者と構成員も多岐になっています。
- ② 月1回の全体会議にむけて、保健福祉センター・基幹型相談支援事業所による事務局会議、事務局と地域型相談支援事業所による全体会議準備会を毎月実施しています。
- ③ 川崎市リハビリテーション福祉・医療センターがあり、公的機関・事業所が多い一方、再編整備による民間法人等の指定管理受託で、今後も変化が予想されます。

### <今年度の目標と方向性>

- ① 個別のニーズや課題を集め、制度や地域として共通する課題の抽出と整理をしていく。
- ② 共通の課題については、何故生じているのか、その課題に対して現在はどうに支援・対応しているのかの実情を共有し、検証する。
- ③ 中・長期的に協議会として調査活動や検証等が必要と整理した特定の課題として、地域社会からの理解や啓発、新たな社会資源の開発・改善に係る協議への推進の一助を担えるよう、今年度はまちづくり部会・地域移行部会・児童部会を設置し検証していく。

### <今年度の区全体会議と専門部会>

- 第1回 【全体会議】 4月20日（金）14：00～17：00 中原区役所**  
各事業所の担当自己紹介と事業所紹介  
今年度の中原区障害者地域自立支援協議会について  
① 自立支援協議会とは ② 昨年度までの取り組みと年間予定についての検討  
「誰もが暮らしやすいまちづくりのためのニーズ調査」報告
- 第2回 【全体会議】 5月20日（金）15：00～17：00 サン・ライヴ**  
今年度の中原区障害者地域自立支援協議会について  
① 今年度取り上げる課題の選出について  
（構成員からの課題整理表をもとに検討）  
「地域に向けた広報・渉外活動」担当毎での年間計画と方針の策定  
「平成23年度中原区障害者地域自立支援協議会のまとめ」冊子について
- 第1回 【専門部会】 6月15日（金）14：00～17：00 サン・ライヴ 他**  
まちづくり部会・地域移行部会・児童部会  
上記ごとで設定。年間での取り組み内容と目標を策定。
- 第3回 【全体会議】 7月20日（金）14：00～17：00 サン・ライヴ**  
課題整理表の検討（構成員から提出された複数の課題をもとに検討）  
「地域に向けた広報・渉外活動」各担当者からの進捗状況の報告

**第2回 【専門部会】 8月17日(金) 14:00~17:00他 中原区役所**  
まちづくり部会・地域移行部会・児童部会

上記ごとで設定。年間での取り組み内容をもとに実施。

**第4回 【全体会議】 9月21日(金) 14:00~17:00 サン・ライヴ**  
専門部会、渉外・広報活動に関する中間報告

中原区の課題について

～ 課題整理表のカテゴリー整理を経ての区での検討 ～

なかはらファミリー第3回目のあつまり。報告

なかはら福祉健康まつりについて

**第3回 【専門部会】 10月19日(金) 14:00~17:00 中原区役所**  
まちづくり部会・地域移行部会・児童部会

上記ごとで設定。年間での取り組み内容をもとに実施。

## 高津区 障害者地域自立支援協議会

### 🍌 <高津区自立支援協議会の特徴> 🍌

- ① 相談支援事業所と保健福祉センターを中心に、構成員は22名となっております。月1回の全体会議にむけて、事務局会議（準備会）を実施しています。全体会議の流れは、各種会議の報告及び課題の検討、個別支援経過報告（事例発表）、各グループの取り組みとなっております。必要に応じて、グループの検討の場面を設定しています。
- ② 各グループの取り組みは、3グループに分かれていて、相談支援・課題整理・ボランティアとなっております。それぞれのグループが中・長期的な目標に向かって、鼎立しています。

### 🍌 <今年度の目標と方向性> 🍌

- ① まず、中・長期的な目標に向かって、2年目の取り組みを、具体的な活動を発信できる年度と捉えています。また、講演会を実施し、地域に対する宣伝活動も実施します。
- ② 個別支援経過報告（事例発表）は、毎月実施します。年間スケジュールの従い、各構成メンバーが提出できるように配慮します。
- ③ 各グループの動きが不透明にならないように、定期的な報告を実施します。各グループの取り組みで、他グループとの連携が必要な場面では、協力を依頼する体制作りを行います。あくまでも5年後の身近な地域である高津区を創造しながら、進めていきます。
- ④ 必要時に応じて、基幹型相談支援事業所と保健福祉センターで緊急の会議も実施します。

### 🍌 <今年度の区全体会議> 🍌

#### 第1回 4月24日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

- ◎新メンバー紹介（県立高津養護学校）及びメンバーの自己紹介
- ◎高津区障害者地域自立支援協議会の機能と活動内容について確認
- ◎市障害者地域自立支援協議会事務局会議報告及び新体制についての確認
- ◎障害者虐待防止法施行に向けた講演会の企画についての検討
- ◎各グループの取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

#### 第2回 5月22日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

- ◎各種会議等報告（①市事務局会議②高津区まちづくり協議会③虐待防止研修）
- ◎障害者虐待防止法施行に向けた講演会の企画についての検討
- ◎課題整理表検討（施設入所支援が決定された方が、日中もセットと言われた件）
- ◎各グループの取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

#### 第3回 6月26日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

- ◎各種会議等報告（①市運営会議②講演会講師との打ち合わせ③障害計画課説明）
- ◎課題整理内容検討（施設入所支援と生活介護）
- ◎講演会のスケジュール等について
- ◎個別支援経過報告（体重増加で引きこもりの知的障害在宅ケース）
- ◎各グループの取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

**第4回 7月24日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて**

◎各種会議報告

◎検討事項①(虐待防止法研修会の役割分担。8/16(木)高津区役所で開催)②(ケアマネ連絡会との交流会について。10/23(火)予定。)③(H25年度体制に向けて、今から利用計画書作成は区割りにした方が良いのではないか)

◎個別支援経過報告(20代男性、知的ケース。週末の過ごし方について)

◎各グループの取り組み(①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア)

**第5回 8月28日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて**

◎各種会議報告(事務局会議)

◎検討事項(障害計画課の説明 H25体制に向けて区割りの必要があるのではないか)

◎確認事項①(9/27(木)初任者研修でボランティア講座の取り組みについて発表)②(療育を考える会シンポジウムで協議会説明)③(12月高津区まちづくり協議会の講演会または交流会(テーマ:障害者共にくらすまちづくり)に参加)

◎講演会のアンケート確認と反省

◎個別支援経過報告(40代男性、知的。就労系事業所に通所希望だが、寝坊、ニーズが数日で変わる等の為、支援方法について検討中)

**第6回 9月25日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて**

◎各種会議報告(事務局会議/まちづくり協議会の12月懇談会の参加について11月市連絡会議の内容/他、各種セミナー開催のお知らせ)

◎確認事項(10月協議会 ケアマネ連絡会との交流会の内容について)

◎個別支援経過報告(40代男性。身体知的の重複。母と妹と同居)環境改善の必要を感じるが、家族、本人とも困り感がなく、自発的な訴えない中、本人の意向をどう引き出し、サービスに繋げて行くか。

◎各グループの取り組み(①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア)

 **<今年度のその他の活動>** 

◎主催事業

・講演会「みんなで知ろう!!!障害者虐待防止法」

講師:東洋大学教授 高山直樹氏 アドバイザー:赤塚光子氏

平成24年8月16日(木)14:00~16:30 高津区役所5階

◎共催事業

・高津区社会福祉協議会主催講座「ボランティア養成講座」

平成24年11月~12月随時 高津区内の日中活動事業所及び区役所

・高津区まちづくり協議会主催交流会「障害者とともに暮らす街づくり」

平成24年12月12日(水)13:30~16:00 高津区役所5階

## 宮前区障害者地域自立支援協議会

### <宮前自立支援協議会の特徴>

- ① 保健福祉センターと相談支援事業所等を事務局とし、当事者の方、障害福祉サービス提供事業所、養護学校、療育センター、まちづくり協議会、社協、と構成員が多岐にわたっています。現在、構成員は33名となっています。
- ② 検討課題を各部会に分けて役割を明確にすることで活動を活発化させ、月1回の全体会で報告し情報を共有しています。
- ③ 全体会にむけて、保健福祉センター・精神保健福祉センター・基幹型相談支援事業所・地域型相談支援事業所による事務局会議を月1回開催しています。

### <今年度の目標と方向性>

- ・全体会では、日ごろの業務の中で感じる課題などの情報共有、情報交換を行える場所となるよう内容の工夫をしていきます。また、会議をより有意義にしていくために勉強会や研修も企画していきます。
- ・部会での活動については、昨年度と引き続き課題を検討していきます。各部会の目標は下記のとおり。

#### ○重度障害・高齢部会

昨年度の高齢部会と重度障害部会を一つの重度障害・高齢部会としました。

- ・介護保険通所施設への移行が難しい方が、どのような事に困っているかを把握するため、区内の65歳以上の障害者の方々の実態調査を行いたいと考えています。また、60歳程度の障害者手帳取得している方に、65歳からの介護保険サービス移行について当事者の方のご希望等を聞ければと考えています。
- ・介護保険サービス従事者や地域住民が、障害がわからないために支援の連携が行いにくい事や不安があることから、地域包括支援センターとの継続した交流会や研修・広報・交流部会と連携し、障害に対する啓発を目的にした広報活動を実施していきます。

#### ○児童部会

児童の関係機関と連携をとれるよう研修会等を実施していきます。昨年度出てきた課題として「サービス情報の提供の不足」があったので、養護学校や特別支援コーディネーターとの連携を模索していきます。

#### ○研修・広報・交流部会

下記の検討をしていきます。

- ・障害者の住まいについての研修会
- ・広報の仕方についてのマニュアル作り
- ・交流会の継続企画
- ・「ほっとらいあぐる」の編集
- ・障害者サポーター事業に関する検討
- ・相談支援事業の認知度を高める広報活動

<今年度の区全体会議>

- 第1回 4月12日(木) 13:30~17:00
- ① 各事業所あいさつ、新規加入事業所の紹介、今年度について
  - ② 全体会の年度計画
  - ③ 活動報告(れいんぼう川崎)
  - ④ その他(地域包括との交流会について)
  - ⑤ 各部会の打ち合わせ
- 第2回 5月10日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会の打ち合わせ
  - ② 各部会からの報告
  - ③ 活動報告(らいむらいと)
  - ④ その他
- 第3回 6月7日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会の打ちあわせ
  - ② 各部会からの報告
  - ③ 講演会報告集について
  - ④ 事務局会議報告
  - ⑤ その他
- 第4回 7月5日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
  - ② 各部会からの報告
  - ③ 活動報告(支援センターながお)
  - ④ 運営会議報告
- 第5回 8月2日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会の打ち合わせ
  - ② 高齢者虐待について(地域ケア連絡会セイワ田邊氏、富士見プラザ伊藤氏)
  - ③ 部会報告
  - ④ 事務協会議報告
- 第6回 9月6日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
  - ② 部会報告
  - ③ 活動報告(らぼおる)
  - ④ 高齢者虐待についての感想等
  - ⑤ 事務局会議報告
- 第7回 10月4日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
  - ② 部会報告

- ③ 活動報告（精神保健福祉センター）
- ④ 事務局会議報告

#### <今年度のその他の活動>

平成24年10月21日(日)9:00~15:00

- 宮前区民祭へ「なんでも相談会」として出店  
区内の障害者生活支援センター職員、児童関係サービス事業所職員、  
西部療育センター職員がなんでも相談を受け付けました。  
相談件数は2件でした。



## 多摩区障害者地域自立支援協議会 年間活動報告

### <多摩区自立支援協議会の特徴>

- ① 昨年度、当事者参加に向け、公募により当事者を募集し、今年度から当事者の方にも参加していただき、現在5名の当事者と3名の家族の方が参加し活動している。
- ② 当事者を含め、各構成員が5つの部会に分かれて活動し、その活動内容を月1回行われる全体会で共有した。

### <今年度の目標と方向性>

「地域の人とつながりをつくる」をスローガンに、課題整理部会、日中活動部会、ライフサイクル部会、災害対策部会の4部会を設置していたが、今年度はさらに就労部会を設置し、5部会で取り組む。今年度は当事者の再募集も予定している。

#### ・各部会の今年度の目標

- ① 課題整理部会  
「多摩区・麻生区共同でグループホーム・ケアホーム実態調査」
- ② 日中活動部会  
「軽度知的障害者の交流の場の開催と余暇支援の事業展開している場所の情報収集」
- ③ ライフサイクル部会  
「つなぎ（児童～成人～高齢期）やサービスについて取り組む」
- ④ 災害対策部会  
「おたすけカードの追跡調査、制度の勉強会」
- ⑤ 就労部会  
「就労についての視点の共有化」

### <今年度の区全体会議>

第1回 4月3日（火）13：30～16：30 多摩区役所にて  
今年度の自立支援協議会について

- ① 作年度までの取り組み
- ② 各部会の報告

第2回 5月1日（火）13：30～16：30 多摩区役所にて

- ① 各部会の報告
- ② 部会ごとの話し合い（それぞれ小グループに分かれて検討）

第3回 6月 7日(火) 13:30~16:30 多摩区役所にて  
① 各部会の報告 ②研修についての話し合い  
その他 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

第4回 7月 3日(火) 13:30~16:30 KFJ 多摩にて  
① 各部会の報告 ②研修についての話し合い  
その他 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

第5回 8月 7日(火) 13:30~16:30 多摩区役所にて  
① 各部会の報告 ②研修についての話し合い③作業係の報告  
その他 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

第6回 9月 4日(火) 13:30~16:30 多摩区役所にて  
① 各部会の報告 ②研修についての話し合い③作業係の報告  
その他 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

第7回 10月 2日(火) 13:30~16:30 多摩区役所にて  
① 各部会の報告 ②研修についての話し合い③作業係の報告  
その他 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

# 麻生区 障害者地域自立支援協議会

## 〈麻生区自立支援協議会の特徴〉

- ① 麻生区自立支援協議会の構成員について  
相談支援事業所（4ヶ所）と 保健福祉センターを中心に、障害福祉サービス提供事業所、就労支援機関、教育機関、障害者（児）の専門機関、区社会福祉協議会、地域包括支援センター、当事者団体からの参画も頂き、運営をしています。
- ② 麻生区自立支援協議会の実施状況について  
運営会議（月1回）と全体会議（月1回）を実施しています。  
運営会議では、相談支援事業所、保健福祉センターや専門機関が集まり、全体会議で行う内容や部会・係の取組について確認を行っています。全体会議では、テーマごとに分かれ、部会や係として協議を進めています。また、参画機関から麻生区で暮らしている当事者の方の生活のしづらさについて、事例検討を行い 生活のしづらさを解決・改善するための方策を構成員で共有し当事者の生活（支援）に活かしています。

## 〈今年度の目標と方向性〉

今年度、重点的に取り組むテーマは、麻生区の福祉ニーズについて、障害の各分野から事例検討を行い、麻生区の地域福祉の課題を整理していく。また、部会や係の充実を図り、障害者（児）の支援を進めています。

また、 昨年度、自立支援協議会で取り組んできた事から明らかになった当事者の地域生活に関連する課題について、解決・改善を図っていくために児童部会、当事者参加を考える部会、グループホーム・ケアホームのあり方部会、広報啓発係、課題整理係を設けて障害者（児）が麻生区で安心して暮らしていけるような相談体制や支援の連携を図っています。

## 〈今年度の区全体会議と部会係の活動について〉

第1回 4月18日（水曜日） 14：00～16：00 福祉パル麻生にて

- ◎各事業所の担当者自己紹介 各事業所紹介
- ◎今年度の麻生区自立支援協議会の目標・年度計画について確認
- ◎部会・係の役割分担  
（児童部会 当事者参加を考える部会 グループホーム・ケアホームのあり方検討部会  
広報啓発係 課題整理係）

第2回 5月16日（水曜日） 13：30～16：00 麻生区役所にて

- ◎各事業所から近況報告
- ◎事務局会議報告
- ◎6月の事例概要について確認
- ◎部会・係協議（協議後 参加者全員で協議内容の共有）

第3回 6月20日（水曜日） 13：30～16：00 麻生区役所にて

- ◎各事業所からの近況報告
- ◎市自立支援協議会運営会議報告
- ◎事例検討 区CWより事例報告（世帯として生活に支援が必要なケース）

◎部会・係進捗報告（参加者全員で協議内容の共有）

**第4回 7月18日（水曜日） 13:30~16:00 麻生区役所にて**

◎各事業所からの近況報告

◎事務局会議報告

◎部会・係協議（協議後 参加者全員で協議内容の共有）

**第5回 8月15日（水曜日） 13:30~16:00 麻生区役所にて**

◎各事業所からの近況報告

◎事務局会議報告

◎部会・係協議（協議後 参加者全員で協議内容の共有）

**第6回 9月19日（水曜日） 13:30~16:00 麻生区役所にて**

◎各事業所からの近況報告

◎事務局会議報告

◎部会・係進捗報告（参加者全員で協議内容の共有）

◎事例検討

通所事業所より事例報告（将来不安や人づきあいで悩み生活が崩れてしまうケース2事例）

## 〈部会・係進捗報告〉

### ◎児童部会

ライフステージに沿った医療・療育・教育・福祉において支援者側にとって有効な支援ツールとしてのフローチャートを作成していく。児童期の相談支援についても具体的な協議を進める。

### ◎当事者参加を考える部会

麻生区で暮らしている当事者に平成25年1月から麻生区障害者地域自立支援協議会構成員として活動して頂くことを目指し準備を進める。平成24年10月1日に当事者参加説明会を行う。

### ◎グループホーム・ケアホームのあり方検討部会（多摩区・麻生区合同課題整理部会）

平成23年度 課題整理係からグループホーム・ケアホームの利用者の生活についての課題（ホームでの生活のしづらさ サービス提供体制 ホーム生活に関連する社会資源等・・・）が挙げられていた。同様の課題がある多摩区と合同で実態の確認を目的に、生活実態調査を11月から開始する。

### ◎広報啓発係

平成23年度 課題整理係から地域ネットワークの重要性について提言を受け、他団体等に麻生区地域自立支援協議会の広報活動を展開している。（区民児協への広報・あさお区福祉計画推進会議参加 社協広報誌への紙面記載 協議会広報誌の発行）

11月に予定されている麻生区福祉祭りに参加し、相談ブースを設置予定（児童期相談 高次脳機能障害相談等・・・）

### ◎課題整理係

平成23年度末に出された課題について整理が済んでいないため、引き続き課題整理を進めている。今年度後期はグループホーム・ケアホームのあり方部会の生活実態調査結果について、分析と考察を進めていく予定。